

おれんじ

NO.96

発行日 2024.11.9
発行・編集 土佐女子中学・高等学校
高知市追手筋2丁目3番1号
電話 875-3111(代)

多角的・多面的思考

高校教頭 松山 宰



◆木戸耕作校長先生の実績

本校の歴代校長の中で、第九代木戸耕作先生は特に有名である。木戸先生は、昭和二十四年八月から平成二年まで四〇年九か月の長きにわたり、校長として本校を飛躍発展させた。創立百周年記念誌によると、就任後は年を追って生徒数が増え、昭和四十年には二五〇〇名を突破、また施設・環境面では、周到な計画のもと校地・校舎拡張事業を行い、創立時と比較して、約四倍の校地面積、十二・五倍の校舎延べ面積を實現した。

また、「女子は女子のみで育て、技術偏重・知識偏重でなく、全人格的教育を忘れてはならぬ」と繰り返し述べた。これは共学校にはない女子校独自の校風として、当時 はかなり注目された。英語

教育にも熱心で、交換留学や海外短期英語研修を始めた。開校以来、外国人教師を初めて雇用したのも木戸先生である。生徒の深い教養のための学力増進を掲げ、高い次元から教職員を牽引した。

◆高大連携協定

木戸先生は学外との交流でも本校の発展を支えた。昭和五十九年に日本私立中学高等学校連合会副会長に就任し、日本私学界に名を轟かせた。当時、昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校の人見楠郎校長先生とは私学の発展に力を尽くした間柄で、その縁で木戸先生亡き後の平成九年に、同校主催の国際研修プログラムに本校生徒六名が参加している。

◆物事の見方・考え方

高大連携に限らず、生徒の学校生活に多様で質の高い選択肢を提示することは学校の責務だ。それらが生徒の心に響き、その後の行動を変えていくと私は考えている。親世代に比してはるかに地域格差はなくなっているといえ、地方で得られるものは都会のそれとは当然異なる。自然の中でゆっくりと時間が過ぎる心地よさの一方で、例えば文化・スポーツなどの施設や機会は都会ほど望めない。しかし、生まれた場所によって生じる経験の差異は致し方ないとしても、生徒たちにはそのことを将来の選択の幅を狭める理由にしないほしい。

この協定により、本校生徒の学びと経験の場が増える。その一つが国際研修プログラムの復活である。二〇二五年度より、本校は昭和ポストン高校生プログラムの参加募集対象校となった。夏季休暇期間中の二週間、アメリカのボストンにある昭和女子大学の海外キャンパスで学ぶというもので、年末頃には募集案内が届く予定である。奮って参加してほしい。

今回の協定締結にあたり、木戸先生の土佐女子の将来を見据えた舵取りを再認識した。同時に、それをさらに次世代に繋げねばならないと己を鼓舞した。木戸先生は事あるごとに土佐女子愛を語ったそう。現在求められている多角的・多面的思考が経験によって育つのであれば、ある年齢までは、親や教師が導くものでもあろう。生徒の思考が未熟であれば、そこから私たちは自己を省み、次の「手」を考えたい。縁あって本校に学ぶ生徒たちが、しなやかに自分の道を切り開く力を備えて巣立つために、私も木戸先生の想いに恥じぬよう校務にあたらう。これが私なりの土佐女子愛である。

過去3年間の大学別合格者数一覧 (のべ数・年度は入試年度)

大学名	合格者数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
宇都宮大			2
お茶の水女子大	1		
大阪大		1	
和歌山大			1
岡山大	4		
香川大	1		
愛媛大		1	2
高知大	9	2	5
釧路公立大	2	4	8
都留文科大		3	
愛知県立芸大	1		
京都府立大			1
神戸市外大		1	
兵庫県立大	1		
島根県立大			1
高知工科大	5	6	4
高知県立大	11	8	13
北九州市立大		1	
計	35	27	37
千葉商科大			1
文教大学	1		
明海大学		1	
目白大		1	
神田外大		1	
青山学院大	2	1	
亜細亜大		1	
大妻女子大			1
共立女子大			1
慶応義塾大	1		
國學院大	2	1	
国士館大		1	
駒澤大学		2	1
駒沢女子大	1		
実践女子大		1	
上智大		1	
昭和女子大	3	1	
女子美大	1		
白百合女子大	2		
専修大		7	1
創価大	1		
大東文化大	1		
拓殖大		1	
玉川大	1		
多摩美大		1	
中央大	2		
帝京大	1		
東京家政大	1	1	1
東京家政学院大		1	
東京工科大		1	
東京電機大		1	
東京農業大			1
東京薬大		1	
東洋大	1	2	1
日本大	1	2	
日本女子体育大	1	1	
日本体育大		1	
法政大	3	1	2
武蔵野音大	1		
武蔵野大	1		
武蔵大			1
武蔵野美大	1		
明治学院大		1	2
立教大		1	1
関東学院大	1	2	
神奈川大			1
愛知淑徳大		1	
中京大	1	3	4
人間環境大			2
名城大	1		
成安造形大			2
大谷大		1	1
京都在外大	2		
京都先端科学大	2		
京都産業大	5	2	4
京都女子大		10	3
京都芸術大		2	
京都橘大	1	2	4
京都光華女子大	1		
同志社大	1	4	
同志社女子大	2	2	4
立命館大	6	5	1
龍谷大	6	6	2
追手門学院大	2		1
大阪音大	1		
大阪芸大		2	
大阪産業大			45
関西大	3	9	4
関西外大	2	2	2
近畿大		5	3
摂南大	4		1
阪南大			2
桃山学院大	1	1	
大和大	1		5
関西学院大	3	3	3
甲南大	1	2	3
甲南女子大	3		7
神戸学院大	10	9	17
神戸女学院大	5	2	14
神戸女子大	12	3	9
神戸松蔭女子学院大	3	2	1
武庫川女子大		3	5
関西福祉大	3		
岡山商大	1		
岡山理大		2	
川崎医療福祉大	1	2	2
ノートルダム清心女子大			2
倉敷芸術科学大	1	1	
就実大	3	1	
美作大	5	3	
環太平洋大	1		1
広島女学院大	1		
福山大			2
安田女子大	3	1	
広島国際大	1		2
四国大		1	4
徳島文理大	3	6	11
私立 四国学院大			1
松山大	1	7	8
高知学園大	16	7	6
高知リハ専門職大	7	5	3
高知健康科学大			2
他	7	12	6
計	172	158	213
実践女子大短大部	1		
嵯峨美術短大			1
大手前短大	1		
奈良芸術大	1		
関西外大短大部		1	
大阪芸術大短大部		1	1
神戸教育短期大			1
川崎医療短大	1	1	
就実短大	1		
美作短大部	1		
四国大短大部			1
徳島文理大短大	1		
高知学園短大	14	13	11
計	21	17	14

R6.4 現在

進路指導部より

進路部部长 田村 弘

平安時代に成立した『更級日記』には、『源氏物語』などの文学に憧れて上京を切望する少女の姿が描かれている。冒頭で少女は、当時「地方」であった千葉から政治や文化の中心である京都への帰還を願う。いつの時代でも「都会に行きたい」、「最新文化に触りたい」という想いは変わらない。

報道によると、首都圏大学の新生における地方出身者の割合が減少しているという。50年前には地方出身者の割合が半数以上を占めていたが、昨年度は三人に一人を下回った。その原因として、人口の多寡だけではなく情報格差や卒業後のキャリアや人生設計

そのものに対する意識の差を指摘する記事も散見される。一方で、地域の学生の「困り込み」が進んでおり、返済不要の給付型奨学金の創設や、無償化など各自治体が様々な施策を立てている。また、入試制度で地域特別枠の設定や、地域特有の課題に特化した学科の開設も行われており、18歳人口の流出を防ぐために新たな公立大学設置を試みる自治体もある。公立大学は設置地域の内外によって入学金に差があり、倍額以上の差をつける大学も存在する。新たに地域内の学生に対して授業料を無償化する自治体や、所得の制限なく地域外の学生の入学金も引き下げることで学生人口を増やそうとする自治体も現れている。



今年度の高校3年生から『新教育課程』による受験となる。少子化の中、大学にとって優秀な学生の確保は至上命題であり、かつてのように横並びの受験方式ではなく、大学の特色をアピールして他と



の差別化を図ろうとする姿勢が顕著となっている。詳細は大学のホームページに掲載される最新情報を確認し、積極的にオープンキャンパスや公開講座等に参加してもらいたい。一月に実施される『大学入学共通テスト』に新たに加わる『情報』と、科目名称が大幅に変更となる地歴・公民については注意が必要となる。必須の有無、配点、選択科目の組み合わせ問題等において注意が必要である。また、数学は『数学Ⅱ・B・C』という新たな枠組みでの実施となり、その他の科目でも設問数の増加などの変更が行われる。国立大学においては、かつて見られたアラカト入試のような科目数の少ない受験方式は激減し、共通テストにおける必要科目数が多いのが現在の特徴と言える。

一方で、年内入試と呼ばれる必要科目数が少ない総合型選抜や学校推薦型選抜の人数が高まっており、私立大学の中には定員の半数以上を充足している大学も存在する。三月の後期入試まで挑戦する受験生は減少傾向にあるが、国立大学の募集定員の70%以上は一般入試での募集となっている。ゆえに最後まで諦めず受験することで進路実現の可能性はむしろ高まっていると言える。

七月末に希望者対象関西方面大学訪問バスツアーを実施した。高校生66名が参加をし、兵庫・大阪・奈良の五大学に足を運んだ。立地や規模も様々で、各大学が独自の教育理念のもと優れた教育を実践しており、雰囲気も異なっている。考查期間中のため多くの学生でキャンパスは賑わっていた。ありのままの大学の雰囲気を体感することができた。本校と長年に亘る繋がりの中で信頼関係が構築されている大学であり、特別に許可をいただいて実現したツアーであった。関係各位に感謝したい。なお、三月には関東方面の大学訪問ツアーを計画している。

文化講演会

令和六年九月二〇日(金)



土佐女子メイソニアリーナにおいて、文化講演会が開催されました。本年度の講師は、女優の松坂慶子さんでした。高知放送の井手上アナウンサー司会進行のもと、牧野植物園の村上さんにもご登壇いただき、「植物を愛した牧野富太郎博士の祖母役を演じて」という演題で、松坂さんに講演をしていただきました。

高知の印象について、「人と人の距離の近さや温かさを感じ、どんどん高知が好きなお場所になった」と、演題の牧野富太郎博士の祖母である「タキ」については、「厳格で愛情深



「講師紹介」
松坂 慶子

NHK大河ドラマ「国盗り物語」で濃姫を演じ、その後、時代劇「江戸を斬る」やテレビドラマ「水中花」に出演。同ドラマの主題歌「愛の水中花」をリリースし、大ヒット。当時大人気の音楽番組「ザ・ベストテン」にも出演。「青春の門」、「蒲田行進曲」、「男はつらいよ」シリーズなど多くの映画作品にも出演し、日本アカデミー賞最優秀賞主演女優賞をはじめ、数々の賞を受賞。NHK連続テレビ小説「らんまん」に牧野富太郎博士の祖母役で出演した縁で、牧野記念財団の理事に就任。

い人で自分にとって憧れの女性だった」とお話しいただきました。また、本県出身の作家、宮尾登美子さんとのご縁についてもお話しいただき、宮尾さんの「武將を支える女性の名が残っていない。だから文学で残す」という思いや、その思いを体現することのできる女優という職業の素晴らしさを感じてお話をしました。

講演後の質疑応答でも、生徒たちに向けて、「何でも楽しんでやる」、「好きという情熱が大切」、「これをやりたいと思ったことを思いっきり楽しんでやって欲しい」とのメッセージをいただきました。講演を通して、自分で進む道を選び、途中で投げ出さないことの大切さを学ぶことができました。

吹奏楽部

第50回定期演奏会

吹奏楽部 元顧問

川崎(森本)直由美

土佐女子吹奏楽部50回という節目に、顧問の先生方の素晴らしい企画として卒業生にも演奏させていただきました。発起人になってくれた数名の卒業生が連絡・計画・調整に携わってくれましたが、どんな演奏になるのか不安で



はありました。

メンバーは63歳から19歳までの百名近く。曲は創部時に演奏した「聖者の行進」、楽器を持って最初に演奏する「バラの謝肉祭」、そして「翳りゆく部屋」の三曲でした。練習はたったの四回。初回の合奏では遠慮がちに演奏している人が多かったものの回を重ねる度にぐんぐん良くなり、初めて一緒に演奏するメンバーとも一体感が生まれていきました。思うように演奏できなくてもそこは歳でカバー。大人の表現・音楽ができてきて、全身で演奏する姿に胸が熱くなりました。こんな感動は初めてでした。緞帳がおりた時の晴れやかな笑顔、感動の涙。私の目標であった「楽しかったら思ってもらえたらそれでよし！」が達成できたと思えました。

今回一番強く思ったことは、卒業生のパワーのすごさです。それは、思春期の六年間を女

子だけで過ごすことに関係があるのではないのでしょうか。女だけの生活で遠慮もないけれど、すべて自分たちの力でやり抜く心意気は育まれます。「土佐女子の卒業生おそろのべし。」と思った今回の演奏会でした。

吹奏楽部 OG

上村(柏井)友希
高三上村 彩華
中一上村 彩月母

私の引退ステージ、第20回定期演奏会から30年。まさか再び当時の仲間と同じステージに立てる日が来るとは思っていませんでした。記念すべき50回目ということで、この春卒業した若者から上は63歳までの総勢93人の、夢のようなステージとなりました。娘二人が在籍しており、親子三人で同じ舞台に立つことができた喜びはひとしおでした。高三の娘は私の楽器を使用し、部長としてこのステージに立ちました。30年前の私も部長でした。演奏会を見に来てくれた旧友は、私の娘が私と同じ立場で壇上に立ち、当時は彷彿させたステージに胸が熱くなったそうです。年月が流れ、進化しつつも伝統を受け継ぐ演奏会であることは、卒業生として嬉しい限りです。当時の顧問の先生が指揮を振って下さったこともあり、年齢関係なく皆がスツと一生徒に戻る感覚は面白かったです。中二の娘も素敵な仲間と出会え、大変な中にも楽しさ、喜びのある日々を送っていました。

す。少子化のご時世、吹奏楽部卒業生が今年立ち上げたOG会をきっかけに、今後少しでも土佐女子校に貢献できる取り組みができたなら幸いです。

吹奏楽部 部長

上村 彩華

部の一員として、記念すべき第50回目の定期演奏会で演奏できたことを誇りに思います。今回、OGバンド枠があり、親子で同じステージに立てたことが、とても嬉しかったです。部長として培った経験をこれからの自分自身の成長に繋げていきたいと、改めて強く思いました。

吹奏楽部 顧問

織田 朱美



定期演奏会50回目という節目で、歴代の先輩方がここまで築いてくださったことへの感謝の気持ちを感じたいと思ひ、恩師である川崎直由美先生指揮のもとOGステージを実現することができました。合奏を重ねる度に、音楽が深まっていく瞬間が何度もあり、鳥肌が立つほどの最高の本番を迎えることができました。しかし、現役部員の演奏

も負けてはいません。私には、土佐女子吹奏楽部を盛り上げたいという思いで日々指導をしています。それは、歴代のOGの方々がおこなってきたように、部員にとって、この部で過ごす一度きりの青春にはかけがえないものが詰まっていると思うからです。ここに至るまでのあらゆる苦難を乗り越えた先の本番は、何ものにも代えがたい感動にあふれています。あの目をキラキラさせてひたむきに取り組む姿を忘れません。関わってくださった全ての方々から感謝申し上げます。

令和六年七月三十一日、八月二日に土岐市文化プラザで開催されました、「第四十八回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門」に出場いたしました。令和三年度には先輩たちが優良賞をいただいた大会とあって、練習にも一層熱が入りました。本番二日前のリハーサルでは緊張で手が震えていた部員達も、本番後は自分の中で最高の演奏ができましたと笑顔で報告してくれました。残念ながら上位入賞は叶いませんでしたが、部員一同大きな舞台で演奏でき、貴重な経験となりました。

令和六年七月三十一日、八月二日に土岐市文化プラザで開催されました、「第四十八回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門」に出場いたしました。令和三年度には先輩たちが優良賞をいただいた大会とあって、練習にも一層熱が入りました。本番二日前のリハーサルでは緊張で手が震えていた部員達も、本番後は自分の中で最高の演奏ができましたと笑顔で報告してくれました。残念ながら上位入賞は叶いませんでしたが、部員一同大きな舞台で演奏でき、貴重な経験となりました。

中学ソフトテニス部

令和六年度高知県中学校総合体育大会 優勝



令和六年七月二十日に高知市東部総合運動公園で行われた「令和六年度高知県中学校総合体育大会」で、三十六年ぶりの団体優勝を果たしました。翌日に行われた個人戦でも、瀬戸・川崎ペアが優勝し、二冠を達成しました。大会までに心身ともに最高のプレイができるようサポートしてくれたチームメイト、保護者の方々、関わってくれたすべての方に感謝の気持ちをもち、今後も精進していきます。

邦楽部

第四十八回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門 出場



令和六年七月三十一日、八月二日に土岐市文化プラザで開催されました、「第四十八回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門」に出場いたしました。令和三年度には先輩たちが優良賞をいただいた大会とあって、練習にも一層熱が入りました。本番二日前のリハーサルでは緊張で手が震えていた部員達も、本番後は自分の中で最高の演奏ができましたと笑顔で報告してくれました。残念ながら上位入賞は叶いませんでしたが、部員一同大きな舞台で演奏でき、貴重な経験となりました。



令和六年九月二十六日(木)、運動会が開催されました。文化祭同様、コロナ前の通常の開催となりました。土佐女子での初めての運動会の中一から最後の高三生まで、みんなが笑顔で力一杯競技に参加していました。最後は高三生による、よさこい大乱舞で例年通り盛り上がりました。



運動会



令和六年九月二十二日(日)、文化祭が開催されました。今年は久しぶりの一日開催となりました。ホームや部活動の催しだけでなく、中学二年生の学年企画としての手作り作品販売や、校友会の方々による販売、ダンス部・パトロン部・書道部によるメイソニアリーナでのパフォーマンスなどで、大いに盛り上がりました。



文化祭



中学三年生 職場体験

令和六年十月十五・十六日、十三生は県内各事業所にて職場体験を行いました。医療、教育、製造、小売、建設、サービスなどの分野に分かれての体験でした。事前学習も行い、希望の職種への体験ではありましたが、楽しいだけでなく働くことの大切さを学ぶことができました。



中学一年生 イングリッシュキャンプ

令和六年十月十五・十六日、中一は本校で行われたイングリッシュキャンプに参加しました。ホームがバラバラになり十クラスに分かれ、英語漬けの二日間を過ごしました。英語力を伸ばすだけでなく、自ら発信することの大切さや楽しさを学ぶことができました。有意義な時間となりました。

主な活動実績 (令和6年度)

部活動名	大会名	区分(個人/団体)	種目	成績	氏名	備考
運動部						
卓球部	インターハイ	個人	女子ダブルス	ベスト8入賞	石川 実鈴 西岡 緩夏	
		個人	女子シングルス	出場	西岡 緩夏	
	令和6年度 全国中学校体育大会	団体	出場	
		個人	女子シングルス	出場	西岡 琉夏	
弓道部	インターハイ	個人	出場	
		団体	出場	
バドミントン部	インターハイ	個人	ダブルス	出場	西森 夕華 安岡 七瀬	
		個人	ダブルス	出場	呉田 真央 濱口 紗奈	
	JOCジュニアオリンピック バドミントン選手権大会全国大会	個人	シングル	出場	呉田 真央	
		個人	ダブルス	出場	西森 夕華 安岡 七瀬	
水泳部	インターハイ	個人	女子高飛込	5位	柳川 小夏	
		個人	女子シンクロナイズド 3m飛板飛込(公開競技)	1位	柳川 小夏	
		個人	女子3m飛板飛込	6位	柳川 小夏	
		個人	女子100m平泳ぎ	出場	栗山 陽菜	
	令和6年度 全国中学校体育大会	個人	女子高飛込	1位(2年連続)	井上 優奈	最優秀選手賞
		個人	女子3m飛板飛込	1位(2年連続)	井上 優奈	
	JOCジュニアオリンピック カップ	個人	女子3mシンクロナイズド	1位	柳川 小夏	
		個人	女子高飛込	5位	柳川 小夏	
個人	女子3m飛板飛込	6位	柳川 小夏			
団体	水球	優勝	足達 天音	優秀選手に選出		

部活動名	大会名	区分(個人/団体)	種目	成績	氏名	備考
水泳部	JOCジュニア	個人	女子高飛込	1位	井上 優奈	
	オリンピックカップ 14-15歳	個人	女子3m飛板飛込	1位	井上 優奈	
	第78回国民スポーツ大会	個人	女子高飛込	3位	柳川 小夏	
ソフトテニス部	インターハイ	個人	女子ダブルス	出場	北原 涼葉 西内 玲花	
		個人	女子ダブルス	出場	野村 美咲 小松 蓮夏	
	第19回ジュニアジャパンカップ	個人	女子ダブルス	出場	川崎 月愛	
テニス部	インターハイ	個人	女子シングルス	出場	杉村 リナ	
ダンス部	全国高等学校 ダンスドリル選手権大会	団体	HIPHOP女子部門 Medium編成	4位入賞	
文化部						
放送部	第71回NHK杯 全国高校放送コンテスト	個人	アナウンス部門	出場	酒井なつみ 岡崎 文香	
		個人	アナウンス部門	出場	前田 玲	
	第48回全国高等学校 総合文化祭 ぎふ総文	個人	アナウンス部門	出場	酒井なつみ	
		個人	朗読部門	出場	林崎 莉緒 竹崎つむぎ	
第41回NHK杯 全国中学校放送コンテスト	個人	アナウンス部門	出場	大井 天葉 竹内 心花		
	全国高等学校総合文化祭	女子個人	出場	松田菜々子	
		団体女子	出場	山中 彩音	
第48回全国高等学校 囲碁選手権大会	個人	出場	松田菜々子		
	個人	出場	山中 彩音		
邦楽部	第48回全国高等学校 総合文化祭 ぎふ総文	団体	日本音楽部門	出場	
生物部	第48回全国高等学校 総合文化祭 ぎふ総文	団体	自然科学部門	出場	
コーラス部	団体	出場	合唱専門部長賞